



# 紡ぐ tsumugu

練馬区立石神井西中学校  
学校だより 第2号  
令和2年4月15日  
校長 荒井 友香

## 「自治」を考える

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、本校は現在、臨時休業中。静かな校内に、数名の先生方が勤務している状態です。

4月6日の始業式で、こんなお話をしました。

初心という言葉があります。誰もが新しいことに取り組もうとするときは、こうしよう、こうしたいと思うものです。おそらく、皆さんが石神井西中学校に入学するときに、中学生になったらといったことを決意したのではないでしょう。新入生の皆さんがもっている、この気持ち。これが初心です。では、1年間が過ぎた新2年生、2年間が過ぎた新3年生、入学当時の初心はどうなっているでしょう。忘れてしまっている人もいるかもしれません。年度が代わるということは、リセットして再チャレンジができるということです。ここで、新たな初心を確認してください。

中学生になった皆さん、入学したころよりも大きく成長した皆さんなら、うまくいかなかったことの原因を探り、どこを直し、工夫すればいいのかを考えることができます。新しい学年のスタートに当たり、成長させた初心をもってほしいと思います。そして、実現に向けて、努力をしてください。

本校は5月6日までの臨時休業を決定しました。その間のことについても、2点お話しします。

一つは、正しく情報を扱うことです。

新型コロナウイルスのニュースを連日見ているうちに、うんざりしてしまって、気分が落ち込んだという人、いるのではないのでしょうか。時には1日情報を遮断して、自分の趣味に集中して、気分転換を図ることは、精神的にとっても良いことです。

正しい情報を知りたい時は、公的な機関のホームページを見ることが有効です。普段使わない言葉もありますが、情報としては、最も正確です。

本校では、週に1回以上は学校ホームページを更新し、今、決まっていることをその都度、発信していく予定です。石神井西中学校について、最も正確な情報は、学校ホームページを見ればよい、ということになります。

情報は、正しく得て、状況に応じた扱いをしてください。

もう一つは、正しく怖がることです。

ウイルスは見えません。でも、密集、密閉、密接の3点に十分気を付けること、健康的な生活を送ることで、予防となります。不安に思い、小さな部屋に一人で閉じこもっていることが正しい対応ではありません。健康で、衛生的で、その上で、不要不急の外出を避けることです。

今回の事態は、石神井西中学校の生徒にとって、実力をためられる場です。本校は「自由と自治」を大切にしている学校です。一人一人の人間が、自分のなすべきことを考え、自立・自律して行動した先に、自治があります。正しい情報を得て、正しく怖がることを理解していれば、この事態は必ず乗り越えられます。

学校再開日まで、この2点について、しっかり考え、行動してください。これは、皆さんの一人一人が考える課題です。

新型コロナウイルス感染症には、誰もがかかる可能性があります。最前線で感染拡大防止に努めている医療関係者をはじめ、生活を支えているたくさんの方々に感謝の気持ちを持ち、まず、自分のできることから行動しましょう。

# 臨時休業中の学校の対応について

## 1 臨時休業中の学習について

- (1) 課題
  - ①課題受取日に配布したもの
  - ②学校ホームページに掲載されたもの
- (2) 提出日  
学校再開初日
- (3) 困ったときは  
学校に電話で相談しましょう。

## 2 保護者会について

臨時休業期間中は実施しません。  
また、学校ホームページを随時更新しますので、定期的にご参照ください。  
個別のご相談は、お電話でお願いします。

## 3 部活動

実施しません。

## 4 生徒のメンタルケアについて

長期間に渡る臨時休業ですので、不安や落ち着かない気持ちになることもあります。  
以下の相談窓口を活用してください。練馬区では、メールでの相談も受け付けています。詳しくは、区のホームページをご確認ください。

- (1) 学校のスクールカウンセラーや心のふれあい相談員と話したい時
  - ・090-9005-2765 に電話し、予約してください。
  - ・心のふれあい相談員は月・火曜日、スクールカウンセラーは水・木曜日です。
- (2) 練馬区の教育相談室
  - ・学校教育支援センター関（電話 3928-7200）

## 5 体調管理カードの記入

- ・健康状態の把握のため、毎日朝夕に検温し、体調管理カードに記入してください。
- ・生徒本人や家族が新型コロナウイルス感染症に感染した場合、または濃厚接触者となった場合は、速やかに学校にご連絡ください。

## 6 学校連絡メールと学校ホームページ

- ・今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、内容を変更することがあります。
- ・学校連絡メールには必ず登録し、学校ホームページは定期的にご確認ください。

## 学校便りの標題について

今年度より、タイトルを「紡ぐ」としました。「紡ぐ」は、「糸にする」という意味で使われるだけでなく、「織り出す」「実現する」「創出する」「表現する」という意味で使われることもあります。未来を紡ぐ、友垣との関係を紡ぐことのできる中学校として、「紡ぐ」としました。

※友垣とは、本校の校歌にある言葉で、「友だち」を意味します。